

# 新宿 Bizタウン ニュース

Shinjuku BizTown News



No. 54  
令和7年3月25日号

目次	起業 創業 応援します！……………1-6
	インフォメーション……………7-8
	新宿区中小企業の景況……………8

# 起業 創業 応援します！

「これまでにないビジネスを立ち上げたい」  
「新しい会社や事業を始めたい」  
新宿区はそんな人たちを全力で応援しています。  
起業や創業に不安や悩みはつきものですが  
今回は新宿区の様々な創業支援制度を利用し  
新宿区で起業・創業した4社に  
創業の動機、支援制度を利用した感想  
そして今後の展望などをうかがいました。  
ぜひ参考になさってください。





## 体力テストをDX化し 運動データから価値を創出

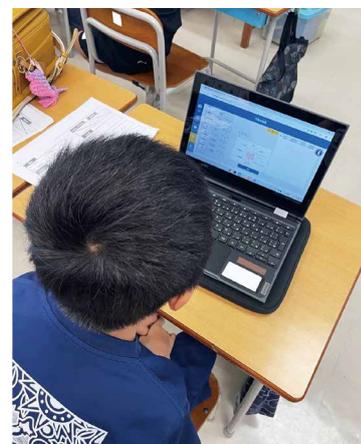
アメフトで発見した  
ビジネスアイデア

ITで学校の体育や部活動を支援するPestalozzi Technology株式会社の井上友綱社長は、早稲田大学のアメリカンフットボール部で活躍後、単身渡米してNFL(ナショナル・フットボール・リーグ)に挑戦、平成26(2014)年に元陸上選手の為末さんとアスリートの発掘や育成を手がける会社を起業しました。

「その会社を売却した後、令和元(2019)年にペスタロッジテクノロジーを創業しました。念頭にあったのはNFLで利用されているスポーツテスト『コンバイン』です。テスト結果が地域や年代別にランキングされ、リクレーターも閲覧できるので、大きなビ



いのうえともつな  
代表取締役社長CEOの井上 友綱さん



簡単に入力でき、  
体力向上に役立つ

ジネスとして成立しています。一方、昭和39(1964)年に始まった日本の体力テストは紙媒体で管理されている状況でした」

そこで子どもたちが学校で行った体力テストの結果を自分で管理できるアプリケーション「ALPHA」(アルファ)を開発、その普及に乗り出しました。



全国の学校で利用されている、体力テストデジタル集計アプリ「ALPHA」(アルファ)



### コロナ禍で 学校のデジタル環境が進化

井上社長は新宿区に中小企業診断士による経営相談窓口があることを知り、創業支援融資などを相談しました。

「相談員の方が熱心で、スタートアップに対する理解があり、柔軟に対応して頂いたこと、融資関係の書類の書き方など、的確なアドバイスがあったことに感謝しています。私は2度目の創業でしたが、最初は何もわからず苦労しました。創業するならこうした制度を積極的に活用すべきです」

その後のコロナ禍で文部科学省の「IGAスクール構想」が前倒しで進行、児童生徒にタブレット端末が行き渡ったことで、普及の目的が立ちました。

「アルファの対象は小・中・高校で、導入主体は自治体、教育委員会、学校など。社名は『日本の公教育の父』といわれるスイスの教育学者、ヨハン・ハインリヒ・ペスタロッジから採りましたが、学校関係者にはよく知られた名前のようで、思いがけず、営業面でも効果を発揮しています」

### 運動データを価値あるものに

井上社長は令和5(2023)年、ベンチャーキャピタルから資金を調達し、社員を増員して営業チームを強化し、アルファは全国4400校、160万人に利用されるまでになりました。



スポーツが大好きな若いスタッフたちと

「現段階でも地域や学年ごとの平均値を知り、体力を向上するための運動動画を観覧できる機能があり、いずれは幼少期から成人になるまで、長期間のデータも得られることから、企業向け、家庭向けなどの開発を進めています」

アルファで身体能力を把握することで、アスリートの発掘や適性の発見などに役立つことは想定されていましたが、小児疾患の早期発見につながることもわかってきたそうです。体力テストのデジタルデータ化は、思わぬ価値が埋もれた「宝の山」のようです。

## 危険な空間下の作業を 遠隔操作ロボットで代替

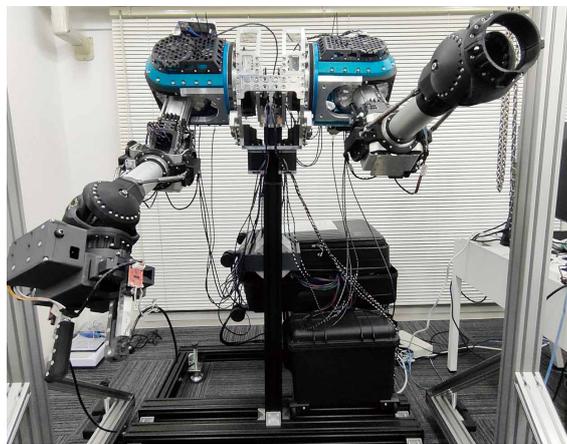
### 創業前から支援センターを活用

大学でロボット工学を専攻し、ロボット関連のベンチャー企業で働いていた上野健弥さんは、人の代わりに遠隔操作ロボットで行う作業の自動化のニーズに着目し、令和4(2022)年に株式会社Space Roboticsを創業しました。起業を決意して、まず行ったのはオフィス探しです。

「ウェブを見ていて新宿の支援制度を知って相談に行きました。創業時に使える資金は限られているので、シェアオフィスの利用を考えていたからです。新宿区以外の制度や施設も比較してみました。偶然にも高田馬場創業支援センターの施設長が大学の同窓・同学科の先輩で、技術的な理解も含めて相談しやすいだろうと感じました」



代表取締役の上野 健弥さん



困難な現場での活用が期待される、試作中の遠隔操作ロボット

起業を志した上野さんにとって、創業前の準備段階から信頼できる相談先ができたことは、その後の事業展開にも大いに役立ちました。

「創業当初にいちばん苦労したのは書類の多さと、書類の書き方でした。経営に関する勉強も大変でしたが、私は事務系の作業が苦手で、その点でも支援センターのサポートが大いに助けられました」

### 危険を伴う場での作業を安全に

上野社長が手がけているのは、原則として危険を伴う過酷な空間下で、作

業者の安全性と生産性を両立させる遠隔操作ロボットのシステム構築です。日常生活で意識されることは少ないものの、人間が気軽に立ち入れない場所には意外と多くあり、たとえ距離が近くても、作業前の準備に時間を要すれば、実効率は著しく低下してしまいます。現在はまだ開発の初期段階だけに、限られた領域を対象にしていますが、将来は地上における活用だけでなく、宇宙空間での実用化も視野に入れていきます。社名にSpace(宇宙)とあるのは、その決意の表れです。

「実は創業時点で、開発が進めば受注が見込める案件があり、何に困っているのか、どう解決すればよいのか、具体的にディスカッションを重ねてきました。それがデモンストレーションを行う段階に進み、再来年度の稼働を予定しています」

上野社長はこの案件を今後の事業展開の突破口とし、適用できる領域を増

やしてコストダウンを実現し、スケールアップを図っていく予定です。

### 迷ったらまずは相談から

現在は受託事業で事業資金を確保し、試作品の製作費や研究開発資金に充てている上野社長。支援センターのシェアオフィスを2年で卒業し、昨年からは新たなステップに進みました。現在は社長とエンジニア、事務系スタッフの3人体制ですが、今後は技術系人材の確保を急ぎ、開発のスピードを上げていきたいそうです。

「支援センターの資金面のサポートにとっても助けられ、OB会の活動や人脈も役立っています。何もかもが初めての経験で、活用しきれなかった点もあると感じます。新宿区の創業支援制度はとても充実していると思えるので、もし創業を迷っているなら、一度相談してみることをお勧めします」



作業する人の手の動きを再現する(完成予想CG)



## 建設業の魅力を発信する クリエイティブチーム

父や祖父に感じた  
職人のカッコよさ

建設業を本気で良くする株式会社  
黒田実緒社長は、建設業に携わる父の  
背中を見て育ちました。ところが建設  
業界は「3K」職場と一括りにされ、慢  
性的な人手不足、特に若者の就労が減っ  
ています。

「祖父は宮大工、父はサッシの取り付  
け施工職人で、子どもながらに職人は  
カッコいいと思っていました。その後  
ウェブ制作会社で働くうちに、多くの  
建設業者はデジタルに弱いことに気づ  
き、建設業の魅力を発信し、若者に選  
ばれる業界にしたいと思いました」

当初は自分のスキルを生かし、個人  
事業主としてホームページを制作した  
り、動画や記事などを配信してきまし



代表取締役の黒田 実緒さん



たが、次第にクリエイターが集まり、  
チームとして業務を分担するようにな  
っていきました。

「個人事業主のままだと、チームの  
成果物が私一人に紐付けられてしまっ  
そのことに疑問を感じ、それぞれの実  
績として残せるようにしたいと思っ  
たのが法人化のきっかけです」

### 「使える」シェアオフィスを 有効活用

黒田社長は創業にあたり、高田馬場  
創業支援センターを利用しました。低  
価格で利用でき、設備も整っているシ  
アオフィスが魅力的だったからです。  
そして令和4（2022）年に創業しま  
した。

「何もわからない状況で、手軽に相談  
できる窓口があることはとても心強く  
感じました。支援センターは立地もよ  
く、いつも清潔に保たれていて人を招



カッコいい建設業にもっと人を集め、元気にしたい

きやすい。会議室も広く、予約も取り  
やすく重宝しました」

創業直後の黒田社長がいちばん苦勞  
したのは資金管理。個人事業主として  
の期間があったため、会社のお金と個  
人のお金を分けることが難しかったそ  
うです。会計の知識が乏しかったので、  
税理士などの専門家の選定にも悩んだ  
そうです。

支援センターで2年を過ごした後は、  
株式会社まちづくり高田馬場が運営  
するシェアオフィス&コワーキングス  
ペース「CASE Shinjuku」に移りました。

### 周囲から共感を得られる会社に

現在は役員2人、社員2人と、プロ  
グラマーやデザイナーなどの業務委託  
先が十数人。これまでは黒田社長を中  
心にプロジェクトを進めてきましたが、  
担当者制として役割を明確にし、サ  
ビスが提供される組織の構築を目指す

そうです。

「私自身もこれまでのような現場の責  
任者ではなく、経営や組織の管理運営  
者にシフトしていく。それと同時に社  
員も増やし、銀行の直接融資を受けら  
れるような会社に成長していきたい」

これまでは顧客にどのようなサービ  
スを提供するか、その品質ばかりを考  
えてきたという黒田社長。取り引きを  
重ねる中で既存客には提案型の営業を、  
そして新規客を獲得するための攻めの  
営業も展開していくつもりです。

「これから創業される方には、世の中  
に共感してもらえるかどうかが大それ  
と伝えたい。私も一人の創業者として、  
顧客、社員、外部スタッフから共感を  
得られる会社に育てていきたいと思  
います」



HPや動画、SNSを駆使し、建設業の魅力を伝えるスタッフ

起業・創業を支援する

# 新宿ビジネスプランコンテスト

## どんな事業？

新宿ビジネスプランコンテストは、新宿区と東京商工会議所新宿支部が開催する、伴走支援型ビジネスプランコンテストです。プロフェッショナルによるセミナーやブラッシュアップなど、起業を後押しする様々なプログラムを用意しています。

## ●対象者

新宿内で創業予定または創業から間もない、以下のいずれかの要件を満たす方

- ・区内に在住、在学、在勤していること
- ・区内中小企業者

※「主たる事務所」が区内に登録されている大学の場合、区外在学生も応募可能

※チームでエントリーする場合は、チーム代表者が上記要件を満たしていること

## ●選考過程

書類評価、面接評価、公開プレゼンテーション評価

## ●エントリー方法

申込フォームからエントリーを受付けます。令和7年度の募集については6月頃に新宿ビジネスプランコンテスト公式ホームページまたは新宿区ホームページにてお知らせします。

## ●表彰

- ★最優秀賞：賞金50万円
- ★優秀賞：賞金20万円
- ★評価委員特別賞：賞金10万円

## 令和6年度 受賞者決定！！

### 最優秀賞

マイクロスペースの  
高速マッチングサービス

片山 将 さん

モビスペース株式会社

この度は名誉ある最優秀賞を賜り、身の引き締まる思いです。審査員の皆様から貴重なご意見を頂けたことが何よりの財産です。私は早稲田大学を卒業してからすぐにこの事業に取り組んでいます。新宿の街の発展に貢献できるよう、今後も地域の皆様と連携しながら、持続可能なビジネスモデルの構築に邁進してまいります。



### 優秀賞

多様性×お笑い漫才  
D-1グランプリ

藤田 ゆみ さん

吉本興業株式会社 東京本社所属芸人

優秀賞をいただき、ありがとうございます。これから、より多くの社会的支援を必要としている方々に「漫才プロジェクト」をお届けできるよう、頑張ってお参ります。多様性の街、新宿区から全国を代表するスタートアップになります。



### 評価委員特別賞

荷物を届けない  
運送サービス「トリイク」

須藤 俊明 さん

早稲田大学 大学院 経営管理研究科

評価委員特別賞を賜り大変嬉しく思います。本コンテストで多くの方にお世話になり、ここまで至ることができました、本当にありがとうございます。ラストワンマイル運送領域の社会問題解決に貢献できるよう今後も精一杯努めて参ります。



## 嬉しいサポートがたくさん！

### ●エントリー前に参加できる キックオフセミナーあり

コンテストへのエントリーを検討している方や、これから起業を考えている方を対象に、起業のノウハウ、スタートアップを取り巻く環境、事業計画の策定方法などをテーマとした参加費無料のセミナーを開催します。

### ●ビジネスプランのブラッシュアップ指導が 受けられます

書類評価を通過した方は、面接評価までの約2か月間、起業支援のプロフェッショナルによるビジネスプランのブラッシュアップ指導が受けられます。

### ●新宿区立高田馬場創業支援センターの 施設利用料免除

公開プレゼンテーション評価に登壇したファイナリストは、ビジネスプランを事業化する拠点支援として、新宿区が運営するインキュベーション施設使用料(1万円/月)の免除が受けられます。

### ●起業支援のプロによるアフターフォロー指導が 受けられます

「最優秀賞」「優秀賞」「評価委員特別賞」の受賞者は、受賞後最長2年間、事業化に向けたアドバイスが受けられます。

情報を知りたい

制度を利用したい

支援がほしい

## 産業振興課にお問合せください

新宿区産業振興課では、区内産業の振興と活性化を目指し、多岐にわたる支援事業を運営しています。経営のヒントにぜひご活用ください。

【問合せ先】新宿区 文化観光産業部 産業振興課

電話 03(3344)0702

〒160-0023 新宿区西新宿6-8-2 BIZ新宿(新宿区立産業会館)

融資

## 創業資金融資制度のご案内



これから区内で創業しようとする方や創業して間もない中小企業者の方が必要な事業資金を低利で受けられるように、金融機関に対して融資のあっせんをする制度です。金融機関の審査が通り融資が実行になった場合、区から利子の補給や信用保証料の補助を受けることができます。

**【対象者】** 下記(1)~(4)のいずれかの条件を満たし、東京信用保証協会の保証対象業種の事業を営み住民税・事業税を滞納していない者。法人の場合は、本店(営業の本拠)と本店登記を区内の同一所在地に置くこと(バーチャルオフィスは対象外)。個人の場合は、事業所(営業の本拠)を区内に置くこと(区内在住1年以上の場合は東京都内の創業も可)。

- (1) 現在事業主でなく、法人または個人で創業しようとする者
- (2) 分社化しようとする者
- (3) 法人または個人で創業し、5年未満の者
- (4) 分社化により創業し、5年未満の者

**【融資限度額】** (1)1,000万円 (2)1,500万円 (3)(4)2,000万円

**【貸付期間】** 7年以内(うち据置期間12か月以内)

**【金利】** 1.8%以下

**【本人負担金利】** 0.2%以下

**【信用保証料補助】** 支払った信用保証料の1/2を補助(上限26万円)

**【利用方法】** ①創業資金専用の申込書等(産業振興課で配布しているほか、区HPからダウンロードも可能)を用意します。

- ②面談の予約をします。(電話予約可)
- ③予約した日時に、必要書類を持って面談を受けます。(1回2時間・複数回実施)
- ④面談終了後、後日紹介状を受け取ります。
- ⑤紹介状を持って、借入希望金融機関に行き、融資の申込を行います。
- ⑥金融機関は審査を行い、必要に応じて東京信用保証協会へ信用保証を依頼します。
- ⑦東京信用保証協会は信用保証の可否を審査し、金融機関に通知します。
- ⑧金融機関から申込者に融資を行います。

### 手続きの流れ



区のホームページは4月1日以降に更新されますので、二次元コードも4月1日以降にご覧ください

無料  
相談

## <事業者向け> 行政書士による無料相談会



東京都行政書士会新宿支部の行政書士が、事業者向けの補助金申請、経営計画策定、事業承継などに関する相談を無料でお受けします。お気軽にご相談ください。

**【対象者】**新宿区内の中小企業者

**【相談事例】**●各種補助金申請をしたいが、やり方が良く分からない

●金融機関の融資を受けるため、新たに経営計画を策定したいが、自分だけでは難しい

●事業承継を考えたいが、どうすればよいか分からない、など

**【日時】**毎月第3水曜日 13時～16時(1事業者につき1時間程度)

**【会場】**BIZ新宿(新宿区立産業会館)

**【申込方法】**事前予約制・先着順。電話で直接お申し込みください。毎月20日(土日祝の場合は翌営業日)より翌月分の予約を受け付けます。

★詳細は右上の二次元コードよりホームページをご覧ください。

募集



## 令和7年度 新宿ものづくりマイスター 「技の名匠」認定候補者募集



←渡辺さん・堀江さんの詳しいご紹介や過去の認定者一覧冊子はこちらからご覧いただけます。

**【対象】**区内の事業所で製造業・飲食業・修理業に10年以上従事し、優れた技術技術を有し、後進を指導し、他の模範となる方

**【申込みから認定まで】**まず所定書式による「調書」「推薦書」を提出をいただきます。その後専門機関の職員が実地調査を行い、認定評価委員会にて認定の可否が決定します。

**【募集期間】**4月14日(月)～5月30日(金)

詳細はお問い合わせください。



左/令和6年度「技の名匠」に認定された渡辺さん(箔押し印刷)



右/同、堀江 新さん(洋生菓子製造)

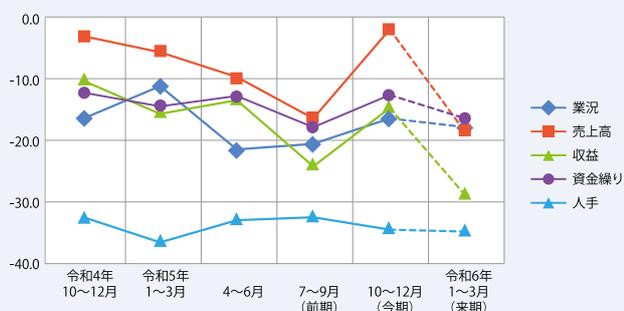
令和6年  
10月～12月期

## 新宿区中小企業の景況

新宿区では区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施しています

1. 調査時期 令和6年12月下旬
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査対象業種 製造業(35件)、建設業(39件)、情報通信業(36件)、卸売業(43件)、小売業(74件)、飲食・宿泊業(73件)、不動産業(48件)、サービス業(76件)、印刷・同関連業(32件)、染色業(12件) ※()内は有効回答数 合計468件
4. 調査機関 (株)東京商工リサーチ

### ●項目別DIの推移(全体)



業況:経済全体の景気状態ではなく、個々の企業ないし産業の景気状況。  
DI(ディーアイ):Diffusion Index(ディフュージョン インデックス)の略で、増加と答えた企業の割合から、減少と答えた企業の割合を差引いた数値のこと。DI値がマイナスの場合、業況・売上高・収益・資金繰りは不調傾向を、人手は不足傾向を示す。

### ●10月～12月期の特徴

業況DI(「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は▲16.6と、前期(令和6年7月～9月)の▲20.7からやや改善した。来期(令和7年1月～3月)の予想は▲18.0とやや低迷する見込み

### ●業種別調査結果(10月～12月期)

景況調査の詳細は、新宿区ホームページをご覧ください。

